

日本での交換留学

アンカラ大学

アキュズ・ゼイネプ・セナー

学籍番号 k2490060

私が9月に日本に来たのは、初めて自分の国を離れた経験でした。日本に来る前に、留学中にできるだけ日本語能力を上達させ、日本の私が知らない文化や習慣を実際に体験したいと思っていました。しかし、来たばかりのとき、日本の生活に慣れるのに苦労するかもしれないと考え、後学期にはチャレンジングな授業ではなく、ゆっくり勉強できる授業を選びました。この授業のおかげで、たくさんのことを学び、日本や異文化についてさまざまな情報を得た上で、自分の文化をシェアする機会もありました。

日本に留学する際、一番不安だったのは自分の会話能力でした。来日前に少し練習していたものの、自分をうまく説明する自信はありませんでした。お茶大の授業ではクラスメイトとディスカッションし、意見を述べる必要があり、最初は遠慮しがちでコミュニケーションに困ることもありました。しかし、時間が経つにつれてディスカッションが楽しくなり、さまざまな国の文化を学ぶいい機会になりました。フランス、タイ、中国、台湾、イギリス、イタリアなど、さまざまな国の習慣について学ぶことができ、とても興味深かったです。



日本に来る前には想像もしていなかった経験が、お茶大の小学生との交流会でした。この交流会のおかげで、日本の小学校を実際に体験し、小学校の構造や科目の内容を学びました。交流会で出会った小学生たちはいつも優しく、一緒にいろいろな話をしたり、ゲームをしたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。小学校を卒業してから10年が経った私にとって、もう一度小学校に戻ったような気分で懐かしさがいっぱいでした。

これからも後学期と同じように一生懸命勉強し、自分の国に帰る前にできるだ

け多くの新しい経験をして、留学生や日本人の友だちと楽しい思い出を作りたいです。

最後に、私の今までの交換留学を無事に過ごすことができるように手伝ってくださったみなさんに感謝を申し上げます。まず、指導教員の西坂先生、毎月の振り返りシートを確認していただき、また日本に来たばかりでホームシックで気分が悪かった私を支えてくださり、本当にありがとうございました。チューターの丸山さん、いつも優しくお話ししてくださり感謝しています。交換留学生を担当していろいろと助けてくださった萩原先生、国際教育センターAA 国際課の皆さん、楽しい文化教室の活動を計画してくださってありがとうございました。また、国際課の大野さん、授業を教えてくださいました先生方にも心から感謝申し上げます。さらに、音羽館の管理室の皆さん、相談に乗っていただき、いろいろな問題を解決してくださり、本当にありがとうございます。そして最後に、いつも一緒に楽しい時間を過ごしてくれた友だちにも感謝しています。

